

令和8年2月4日(水)

発行:大阪市立墨江丘中学校長 進藤 文代

2026年スタート☆ 午年は、パワー全開の年！

新年あけましておめでとうございます。2026年は丙午（ひのえうま）です。陰陽五行説によると「丙」は太陽や火の強い性質を意味し、「午」は行動力、社交性、勢いなどの意味を持つことから、炎のような情熱と勢いのある激動の年と言われています。古い殻を焼き尽くし、新しい芽を出すためのエネルギーがまさに激動の年です。これは、過去の成功を一度燃やし、新しいことへの挑戦する変革の年ともいわれています。令和8年度1月には、墨江丘中学校は創立50周年の年を迎えます。記念すべき年度が、勢いのあるパワー全開の丙午（ひのえうま）！墨江丘中学校の歴史を振り返り、新たなる成長、発展を遂げられるようみんなで取り組んでいきましょう。

本校の教育目標は「人権教育を基盤に、思いやりと挑戦の心を育み、未来を創る力を養う」です。創立50周年に向けて、昨年度リニューアルしました。本校教育の3本柱である「気づき、変化、進化」「激動の時代を生き抜く人材育成」「次世代で自分の『真価』が発揮できる心の育成」に取り組むことにより、人間的に大きく成長することができます。情報を頭で考えるだけでは激動の時代を生き抜くことはできません。人との出会い、様々な体験により豊かな心が育ち未来を切り拓く力が育成されるのです。探究学習をベースとした学校行事、いのちをテーマとしたキャリア教育や防災教育等を通して、みんなが将来、未曾有の災害や予測不可能な困難に直面したとしても、自ら未来を切り拓く力を身に着けていくことを願っています。墨江丘中学校では、地域と共に、激動の21世紀を生き抜く正しい人権意識、次世代の学力を身につけ、国際社会で活躍する教育を進めていきたいと思います。さまざまな問題についても、教職員が一丸となって、生徒の安心と安全を守っていきたいと考えております。昨年同様、学校からの情報発信に努め、保護者・地域のみなさまと生徒一人ひとりをしっかりと見守り、支えていける学校づくりに取り組んでまいります。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。



映画「有り、触れた、未来」上映会

がんばる先生支援研究事業

1月23日（金）は、東日本大震災の避難所運営を当時教頭として経験され、昨年も本校で防災や命の大切さを教えてくださった、元石巻高校校長の齋藤幸男先生にお越しいただき、1年生に防災教育をしてくださいました。夜には、地域の方向けに防災ワークショップも開催していました。そして、1月24日（土）13時より、住吉区民センター小ホールで『がんばる先生支援』事業の一環として、映画『有り、触れた、未来』（監督 山本 透さん 2023年公開）上映会を開催しました。山本透監督は、最近では「九月の恋と出会うまで」で監督、「陰陽師0」（山崎賢人主演）で助監督をされている方です。齋藤幸男先生著書の「生かされて生きる～震災を語り継ぐ～」から着想を得たオリジナルストーリーで、命と向き合い懸命に生きる人々の姿を描いた、生きる力を与える感動作です。当日、映画原作を書かれた齋藤幸男先生と、映画にも出演していた舞台俳優・プロデューサーの舞木ひとみさんのアフタートークもありました。地域の方も含めて、100名ほどの方が鑑賞に来てくださいり、中には淡路島の南淡路等遠方から来られた方や、30回以上鑑賞に来られている方もいらっしゃいました。私自身も2回目の鑑賞でしたが、感動するところが1回目とは違い新しい自分の感性を発見することができました。とても学びの多い映画でした。上映会に来てくださった皆様、本当にありがとうございました。

1月28日（水）に行われた1・2年生対象避難訓練（地震・津波想定）では、齋藤先生に負けじと、生徒会メンバーが、「地震災害が起こった時にどうするか？」「怪我した時の処置方法」など、今すぐ役に立つ防災対策についてわかりやすくプレゼンテーションしてくれました。自分ごととして防災を考えること、素晴らしいですね。この機会に、各ご家庭でももしもの時にどうするか？話し合う機会としてもらえれば幸いです。



レゴ全国大会出場チームの「LUMINOSA AURORA」が住吉区橋区長に、全国大会出場報告に行きました。緊張しながら、当日発表した考古学を広める企画プレゼンテーション、実際プログラミングしてレゴ・ロボットがミッションを、クリアしている動画、実際製作したレゴ・ロボットを持参して説明するなど、堂々たる発表でした。全国大会、応援しています。

